

里・上甌地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H27当初予算	事業完結分
H25	1	里	里港の整備促進について (季節風や南東の風の時も寄港できる港湾の整備)	建設政策課	管理している県によると、同じような条件の港が全国にも沢山あるということである。そちらの方で波を抑える工法・対策がないかを検討・研究していただいているところである。現在の港のエプロン・広場の舗装の補修や景観上の植栽等も必要な部分もあるので、今後も引き続き、玄関港に相応しい港に整備されることとなった。	回答のとおり	回答のとおり						○
H25	1	里	里港の整備促進について (待合所の拡張工事とともに本格的な物産館の併設)	観光・文化・福祉課	里港待合所は島民の皆さまの利便性向上と、今後、増加が見込まれる観光客に対応するため、長浜港と併せて、平成26年度に増・改築する予定である。 待合所の増築・改修内容については、今後、地元関係者の皆さまへ説明の機会をいただき、説明の上、最終的な設計を取りまとめたい。	地区コミ会長や入居者様に対しては、図面案を基に改修の計画を説明したとともに、御意見を賜った。工事着手前に改めて状況を報告し理解を求めるとした。	今年度、長浜港ターミナルとともに改修工事に着手し、関係者のご意見を賜りながら進めているところであるが、工期の関係上、やむを得ず平成27年度に繰り越し、5月末の完成を目標に工事を進めている。	平成27年度5月に完成、検査を経て、同年6月14日にオープニングセレモニーを挙行了。現在は、指定管理者による管理運営を行っている。		○			○
H25	1	里	里港の整備促進について (駐車場の新設)	建設政策課	駐車場が不足しているという状況については、県も十分に理解をされていた。現在、浮き桟橋を新たに工事中であるので、終了してから、駐車場のレイアウトについては検討される。いずれにしても、里港については、県の方も十分グレードアップされる等整備の推進について、真剣に考えておられるので、市としても皆様方の御要望を確実に伝えてまいりたい。	回答のとおり	回答のとおり	回答のとおり 県として、平成28年度に物揚場を駐車場へ用途変更を検討している。					
H25	2	上甌	空き家・空き地対策について	防災安全課	国会審議の過程や法案の内容を十分に確認する必要があると判断して、来年の3月議会において、条例の制定や対策に必要な予算案と併せて、対応したい。	法案提出の状況及び法案内容について、情報収集等行ってきたが、年度末までの提出がなかったことから、条例制定には至らなかった。今後も法案の動向に注視し、提案後の条例制定に向け情報収集等に努めていく。	「空家等対策の推進に関する特別措置法」が昨年11月19日可決、11月27日交付され、一部が平成27年2月26日に施行されたところである。今後、5月末までにガイドライン（特定空家の具体的判断基準や指導・勧告・命令の手続きの進め方等）が示される予定であり、それらを踏まえ、条例制定に向け取組を進めたい。	・平成26年施行の空家特措法を受けて、市は平成27年9月、「薩摩川内市空家等対策の促進に関する条例」を制定し、平成28年3月に平成28年度から32年度まで5年間の「薩摩川内市空家等対策計画」を策定したところである。 ・この計画に基づき、空家に対する効果的な施策展開を図り、関係団体と連携しながら対応してまいりたい。					
H25	2	上甌	空き家・空き地対策について	環境課	環境美化推進条例、現在の市の対応等を説明。 衛自連によるボランティア活動への支援を説明。	環境美化推進条例、現在の市の対応等を説明。	H25に同じ	同左					
H25	2	上甌	空き家・空き地対策について	建築住宅課	3月議会で、解体補助制度等についても検討をしている。	空き家で、特に建物の損壊等が著しく、公道等に面しているとして危険性がある廃屋等の解体撤去を促進するため、「薩摩川内市危険廃屋等解体撤去促進補助金交付要綱」を策定し、解体撤去の促進に努めることとしている。	薩摩川内市危険廃屋等解体撤去促進事業補助金交付要綱により、甌島地域4件を含む33件の危険廃屋の解体撤去がなされた。引き続き、促進に努めることとしている。			○	○		○
H25	その他	その他	観光ルートの中で、道路が狭くて中型バスが離合できない箇所や危険な箇所等、具体的には貝池へ下る場所や市道から貝池へ入る狭い道路については、小型車でも危ない状況である。	建設整備課	市道であるとのことで、県道から入口の隅切りや、途中の離合場所等について、市有地であれば、直ぐに対応できると思う。個人所有の土地の場合でも、土地の買収等がうまくいけば、可能であると思う。場所については、職員と現地で立ち会っていただき、予算化しながら観光の面からも善処したい。 草の伐採については、一番大事なことであり、と思うので、ゴールデンウィーク前等、観光客が多くなる前あたりで、積極的に伐採作業を進めてまいりたい。	現地調査及び周辺の土地所有者の調査を行った。(離合箇所及び道路拡幅等) また、草及び支障木の伐採は、状況を見ながら実施しているところである。	下記のとおりに建設維持課で対応する。 (所管課を建設維持課として一つにまとめる。)						○
H25	その他	その他	観光ルートの中で、道路が狭くて中型バスが離合できない箇所や危険な箇所等、具体的には貝池へ下る場所や市道から貝池へ入る狭い道路については、小型車でも危ない状況である。	建設維持課	市道であるとのことで、県道から入口の隅切りや、途中の離合場所等について、市有地であれば、直ぐに対応できると思う。個人所有の土地の場合でも、土地の買収等がうまくいけば、可能であると思う。場所については、職員と現地で立ち会っていただき、予算化しながら観光の面からも善処したい。 草の伐採については、一番大事なことであり、と思うので、ゴールデンウィーク前等、観光客が多くなる前あたりで、積極的に伐採作業を進めてまいりたい。	離合箇所及び道路拡幅等の現地調査や周辺の土地所有者の調査を行った。 草及び支障木等については、状況を見ながら伐採等実施している。	市道貝池線への県道入り口部分は、H27年度に県が改良する予定となっている。市道部分については、H26年度に離合箇所及び道路拡幅等のための測量設計を実施し、H27年度から用地の調査、地権者への相談を行う予定であり、用地買収が済み次第、工事を進めてまいりたい。 草及び支障木の伐採は、状況を見ながら実施しているところである。	H27年度に用地調査を実施、6筆を用地取得し、現在、起点から60m区間の改良工事に着手し、県道入り口15mを県が、残り45mを市で施工している。H28年度は残り2筆の用地を取得し、工事を進めていきたい。 草及び支障木の伐採は、状況を見ながら実施しているところである。			○		
H25	その他	その他	米について、農産物の検査を甌島で実施していただきたい。	農政課	安全・安心の食のための検査や時期等を解決する問題等があるので、今後、職員とどのような方法があるかを一緒になって考えてまいりたい。	米の検査については、国の許可や検査員の派遣が必要となるため、検査時期、検査量を把握したうえで、検査機関との協議が必要と考えている。そこで、要望者と、検査の必要性及び地域の要望量について協議を行っているところである。	J Aと協議し、検査体制を確立した。 H26年11月検査実施済み						○

里・上甌地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H27当初予算	事業完結分
H25	その他	その他	漂着したプラスチックごみについては、本土へ運搬してから焼却される対応になると思う。この解決策ができた場合は、上甌・里地域だけでなく、甌島全島の住民の皆さんに支所を通じてお知らせしていただきたい。	環境課 クリーンセンター	御質問のあった件については、支所・クリーンセンターとも協議をしてあるとのことであるので、持ち帰り、どのような方法があるかを再度協議させていただきたい。		H25と同じ	・平成27年度から県の「海岸漂着物地域等対策推進事業」を活用し、海ごみの回収及び処理を行っている。 ・事業箇所の選定は、支所と十分協議していただきたい。					
H27	1	里	国定公園の指定に伴う施設の整備について（里港の駐車場整備について）	建設政策課	蘭牟田瀬戸架橋が完成すると、下甌島から里港を利用される方も増え、駐車車両の増加も想定される。県（管理者）へ確認したところ、駐車場整備を考えているとのこと。ただ、正式に決定されている段階ではなく、今後、港湾法をはじめ、様々な国の基準等をクリアしながら、事業化に向けて取り組みたいとのことであった。県と協議する場もあると思うので、地元の御意見を十分に取り入れながら、対応させていただきたい。			回答のとおり 県として、平成28年度に物揚場を駐車場へ用途変更を検討している。					
H27	1	里	国定公園の指定に伴う施設の整備について（県道瀬上・里線の未整備区間について）	建設政策課	現在、瀬上・里線については、ナマコ池や貝池の上の部分を整備していただいている。御要望の区間については、国定公園の指定等もあり、長目の浜への観光ルートである。 しかしながら、県としては、蘭牟田瀬戸架橋整備を集中的に実施されている。橋の整備の中盤以降に要望することを考えている。 毎年、「要望会」が設けられているので、その中で要望は続けるが、現時点、市としては、橋の整備に集中していただきたいと考えているので、御理解願いたい。			平成27年度は改良工事を一部実施した。（道路改良74m・事業費25,000千円） 今後とも要望を続けていきたい。					
H27	1	里	国定公園の指定に伴う施設の整備について（案内板の設置について）	観光・シティ-ル課	地理に不慣れな観光客の安全性の確保のための、案内板設置は必要であると考えている。 昨年度、県・市で12箇所の観光案内板を追加設置したが、まだまだ不十分な所もある。既存の案内板3箇所もわかりやすいように改修もした。今回、具体的に御提案いただいているので、優先順位もあるが、観光客の利便性・安全性を考えて、今後の進め方を検討したい。			引き続き、関係課と連携しながら、案内板整備の進め方を検討したい。					
H27	1	上甌	県道桑之浦里港線中甌地内の改修について	建設政策課	この区間については、これまで何回も議会で質問があり、県へも要望している。建物や地権者等への用地交渉等の理由により、抜本的な改修が実施されていないが、カラー舗装をしたり、ガードパイプを補強する等して、交通安全施設を強化・意識の周知を図ってきた。 しかしながら、蘭牟田瀬戸架橋が完成すると、当然、当区間の交通量も増えてくると思う。今年度、早い段階で改修等を含めた協議をする旨、県からも回答をいただいているので、御理解をお願いしたい。			回答のとおり					
H27	他		高齢者クラブ大会（島内での開催分）用の福祉バスや「観光船かのこ」の運用について	甌はひとつ推進室	蘭牟田瀬戸架橋完成までの間、どのような対応ができるかを検討したい。								
H27	他		高齢者クラブ大会（島内での開催分）用の福祉バスや「観光船かのこ」の運用について	高齢・介護福祉課	蘭牟田瀬戸架橋完成までの間、どのような対応ができるかを検討したい。			高齢者クラブ連合会等の行事（市共催）については、市マイクロバスの使用可。 参照：平成24年5月8日付け薩財活第252号、平成23年11月14日付け薩高第2599号					○
H27	他		高齢者クラブ大会（島内での開催分）用の福祉バスや「観光船かのこ」の運用について	交通貿易課	蘭牟田瀬戸架橋完成までの間、どのような対応ができるかを検討したい。								
H27	他		高齢者クラブ大会（島内での開催分）用の福祉バスや「観光船かのこ」の運用について	観光・シティ-ル課	蘭牟田瀬戸架橋完成までの間、どのような対応ができるかを検討したい。			観光船かのこの運航状況を踏まえながら、どのような対応ができるか、引き続き検討したい。					
H27	他		以前、鹿島でシルバースポーツ大会があった際、下甌島ではハイエースバン5～6台で来ていた。上甌島には、マイクロバスは1台しかない。	甌はひとつ推進室	上甌島、下甌島での実態調査をさせていただきたい。								
H27	他		以前、鹿島でシルバースポーツ大会があった際、下甌島ではハイエースバン5～6台で来ていた。上甌島には、マイクロバスは1台しかない。	財産活用推進課	上甌島、下甌島での実態調査をさせていただきたい。								

里・上甌地域まちづくり懇話会 進捗状況一覧

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H27当初予算	事業完結分
H27	他		以前、鹿島でシルバースポーツ大会があった際、下甌島ではハイエースバン5～6台で来ていた。上甌島には、マイクロバスは1台しかない。	高齢・介護福祉課	上甌島、下甌島での実態調査をさせていただきたい。			高齢者クラブ連合会等の行事（市共催）については、市マイクロバスの使用可。 参照：平成24年5月8日付け薩財活第252号、平成23年11月14日付け薩高第2599号					○
H27	他		昔は、貝池となまこ池の間は、渡瀬（飛び石）でつながっており、水の行き来があった。しかし、今は、そこに道ができて、かろうじて約45cm程度の側溝でしか、つながっておらず、潮が動いていない。以前は、貝池に藻が生えることがなかったが、今はものすごい勢いで青い藻が生え、貝が死んでいる。そこで、その側溝を広げてもらえないか。以前、会合があった際、行政の方にその旨を伝えましたが、対応できないとのことであった。	環境課	環境の問題であり、調査させていただきたい。			平成27年3月10日に国の天然記念物の指定・平成27年3月16日に国定公園の指定を受けている。今後、関係課と協議をしていきたい。					
H27	他		甌島国定公園のポスターのデザインによる紙袋や風呂敷の作成。歓迎用の横断幕へ方言を掲載することについて。	観光・ソイセル課	袋については、既に、合併直後から使用している。また、東京薩摩川内会からも、もう少し小さい袋の要望もある。本市のスポーツ大使である木佐貴氏からも要望があり、キャンプ中も持って回ったとのことである。しかしながら、民間の方々への周知は進んでいないかもしれない。 10月1日を目指し、観光物産協会ときやんせふるさと館の合併を進めている。その機会に、袋等の件や横断幕の変更をできるように進めていきたい。			現在も合併直後から使用している甌島をデザインした紙袋を使用しているところであるが、甌島国定公園のPRにつながるよう、統一感のあるデザインの紙袋等を引き続き検討していきたい。 また、歓迎用の横断幕についても、観光物産協会等と連携を図りながら、引き続き検討していきたい。					